

第2次うるま市 環境基本計画

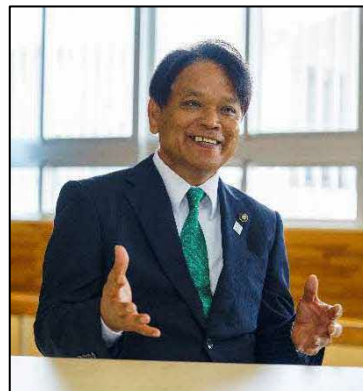
(地球温暖化対策実行計画 区域施策編)

ROAD TO
2030

令和7年10月
うるま市

はじめに

私たちのまち「うるま」は、澄んだ海、豊かな森と河川、そして先人から受け継いだ文化と暮らしに支えられています。しかし近年、気候変動の影響による台風の大型化や異常気象、サンゴ礁の白化、海洋ごみの増加など、私たちの足もとで環境の変化が確かに進んでいます。次の世代へ美しいまちを確かな形で手渡すために、私たちは行動を加速させなければなりません。



第2次うるま市環境基本計画（計画期間：令和7年度から令和12年度）は、「住むひと、訪れるひと、すべてに“感動”をあたえる美しいまち うるま」を将来像に掲げ、「暮らし」「自然・生き物」「学び・行動」「地球温暖化対策」の四つの分野を柱として、環境施策に関する総合的な取り組みを示しています。とりわけ地球温暖化対策では、2050年脱炭素社会の実現を見据え、市民・事業者・行政が今以上に力を合わせ、挑戦する必要があります。

また、将来像の実現には、身近な環境の質を高めることも重要です。ごみの発生抑制と再資源化の徹底、家庭用コンポストの利用、海岸・河川の清掃と海洋ごみ対策、都市緑化や生物多様性の保全、環境教育と市民協働の拡大など、うるま市に暮らす、すべての人が環境の課題を「自分ごと」として捉え、ひとつひとつを積み重ねることで、「うるま」の魅力と誇りを磨き上げます。私たちは、市民・事業者の皆さまと連携し、学びから行動へ、行動から定着へとつながる仕組みづくりを進めてまいります。

美しい海と空、豊かな自然を未来の子供たちに残すため、本計画へのご理解とご協力並びにご参画をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、市民の皆さま、事業者の皆さま、うるま市環境審議会の皆さまから貴重なご意見とご提言をいただき、心から感謝を申し上げます。

令和7年10月

うるま市長 中村 正人

目 次

第1章 第2次うるま市環境基本計画の概要

1-1 計画の目的	1
1-2 うるま市の環境行政のこれまでの取組	2
1-3 計画の位置づけ	3
1-4 計画の期間・目標年度	3
1-5 計画が対象とする環境	4
1-6 計画の対象主体と役割	5

第2章 うるま市の概要

2-1 位置・行政区	6
2-2 人口・世帯数	8
2-3 踏まえるべきうるま市の現状	9
2-4 環境に対する事業者・市民等・小学生・中学生などの意識	20
2-5 第1次基本計画で掲げた目標の点検・評価及び総括	22
2-6 今後の課題	23

第3章 うるま市の目指す将来像

3-1 うるま市の目指す将来像	25
3-2 基本目標	25
3-3 うるま市環境基本計画の施策体系	26

第4章 具体的な取組

4-1 基本目標1 みんなが快適にすごせるまち	28
4-2 基本目標2 美しい自然や多様な生き物をまもるまち	33
4-3 基本目標3 環境を学び、みんなで行動するまち	38

第5章 うるま市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

5-1 計画の基本的事項	41
5-2 うるま市における温室効果ガス排出量の現状及び課題	53
5-3 温室効果ガス排出量の削減目標及び将来予測	58
5-4 削減目標達成に向けた取組（緩和策・適応策） 基本目標4 カーボンニュートラルと循環型社会を形成するまち	61

第6章 計画の推進体制と進捗管理

6-1 推進体制	68
6-2 進捗管理	69

資料編